



2026年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 山野 義友  
(コード番号 7 5 7 1 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役専務執行役員  
管理本部長 岡田 充弘  
電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

## 2026年 3 月期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年 5 月 15 日に公表しました2026年 3 月期の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また当社は個別業績予想を開示しておりませんが、当社の個別決算における当事業年度の実績値が前事業年度の実績値から一定以上変動しましたのであわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想との差異について

(1) 2026年 3 月期連結業績予想と実績値との差異 (2025年 4 月 1 日～2026年 3 月 31 日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,400	百万円 640	百万円 500	百万円 450	百万円 320	円 銭 9.18
実 績(B)	14,724	593	411	360	207	5.96
増減額 (B - A)	324	△47	△88	△89	△112	△3.22
増減率 (%)	2.3	△7.3	△17.6	△19.8	△35.1	—
(ご参考)前期実績 (2025年 3 月期)	13,964	368	256	236	41	1.20

(2) 差異の理由

売上高については、ニューバリューセグメントにおいて、教育事業の堅調な推移に加え、新たにグループに加わった株式会社薬師スタジオ及び株式会社ニューヨークジョーエクスチェンジの業績寄与により売上高が拡大いたしました。コアバリューセグメントにおいても、和装宝飾事業における新販売管理システムの定着に伴う引渡し早期化効果や、美容事業における収益改善、ライフプラス事業の回復が進んだことにより、予想を上回ることとなりました。

利益面については、新規で子会社化した3社(株式会社薬師スタジオ、株式会社ニューヨークジョーエクスチェンジ及びアークネット株式会社)のM&Aに伴う取得関連費用93百万円が先行して発生したことに加えのれん償却費が増加し、各事業における増収効果はあったものの、係る先行費用を吸収するまでには至りませんでした。また、本日別途「特別損失並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」で開示しましたとおり、固定資産の減損損失32百万円の計上や繰延税金資産11百万円の取崩し等があったため、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る結果となりました。

## 2. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2026年3月期通期個別業績の前期実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2025年3月期) 実績(A)	百万円 7,232	百万円 203	百万円 176	百万円 △144	円 銭 △4.13
当期(2026年3月期) 実績(B)	8,439	398	370	315	9.06
増減額 (B - A)	1,206	195	194	159	13.19
増減率 (%)	16.7	96.3	110.0	—	—

### (2) 差異の理由

通期の個別業績につきましては、和装宝飾事業における新販売管理システムの定着に伴う引渡し早期化効果や、ライフプラス事業の回復が進んだことに、また2025年10月1日付で美容部門子会社の株式会社ヤマノプラスを当社が吸収合併したことに伴い、売上高は前年を大きく上回りました。

利益面においても、和装宝飾事業及びライフプラス事業の売上が好調であったことによる売上総利益の増加に加え、吸収合併した美容事業が順調に推移したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益とも前期実績を大幅に上回る結果となりました。

以 上